

双子ちゃん三つ子ちゃん、ママパパみんな集まれ♪



布川正秀子さん 平尾美夏江さん

徳島多胎ママの会



徳島多胎ママの会は多胎育児を行うママ、パパたちの交流の場です。ここでは同じ境遇のママ、パパたちと一緒に支え合い、子育てを楽しむための環境づくりや、つながりづくりを行っています。今回は会の運営をボランティアとして担当する平尾 美夏江(みかえ)さんと布川 正秀子(まほこ)さんにお話を伺いました。



みんなHAPPYふたご・みつごスマイルカーニバル(ふれあい健康館で2/23に開催)

多胎育児を支えたい

この会の始まりは、双子のママである平尾美夏江さんが佐賀県で多胎育児の交流会に参加し、双子ママや、先輩ママと出会い、心が救われた経験があったからだと言います。その後、平尾さんが徳島に引っ越してから、布川正秀子さんと出会い、二人で徳島多胎ママの会を立ち上げました。

●平尾さん「子どもが成長して、少し手が離れたら、交流会を徳島でも開きたいと思っていました。そして、自身が双子で二児のママでもある布川さんとお会いしました」。

●布川さん「仕事の関係で知り合った双子のママがSNSで『双子を病院につれて行くのがすごく大変、みんなどうしているんだろう』と発信しているのを見

て、困っているママがいることを平尾さんに話しました。そのことをきっかけに、そんなママたちをつなぐため2021年11月に徳島多胎ママの会を初めて開催しました」。

始めるにあたって特に不安なことはなかったと言う平尾さんと布川さん。一組でも来てくれて、こういう会があってよかったと思ってもらえればそれでいいと考えていたそうです。

第1回は二人のインスタグラムで告知をし、徳島市応神町のレンタルスペースで開いたところ10組が集まりました。

●平尾さん「ママたちが気兼ねなく話している様子がとても印象に残っています。その後、参加してくれる人が少しずつ増えました。思い切って開催してよかったです」。

●布川さん「1回目は0歳児が多かったので赤ちゃんをゴロンとさせ、ママ同士でゆっくり話ことができました。2回、3回となると赤ちゃんも歩けるようになり、安全面への配慮や、兄弟も一緒に遊べる準備など、平尾さんと運営について試行錯誤しながら進めてきました」。

その後、徳島市のふれあい健康館、おきのすインドアパーク、松茂町の月見が丘公園、藍住町総合文化ホールなどでの開催を続け、今年6月で第15回を

迎えます。そして、お譲り会の開催、会員限定のLINEグループでの情報交換など、参加者みんなで支え合う会へと成長してきました。また、スーパーや公園で双子家族を見かけると、声を掛けて会に誘ったり、運営を手伝ったりする仲間もいるそうです。

最初のころは平日の開催でしたが、最近ではパパも参加しやすい土曜日や、日曜日の開催も増やし、パパ同士の交流の機会をつくっています。



お譲り会



交流会



講師の三原勇氣さんによるママたちのワークショップ



ママたちのワークショップの間、パパ同士の交流も始まっています

多胎育児は大変なだけじゃない

●平尾さん「双子には、小さいときから母親にも理解できないような二人だけの世界があるんです。言葉を越えたりやり取りでキャッキョと笑い合っている姿を見るだけで、なんて幸せなだろうと思いました。育児は2倍大変ですが、かわいさは何万倍にも感じます。でも心に余裕がないとそういうふうには思えないので、この会で交流して、つながって、一人じゃない、周りのママたちも頑張っているから私も頑張ろうと思ってもらえたら、うれしいです」。

●布川さん「わたしは、双子の当事者として姉と今もなかよしで、旅行に行ったり、子育ての相談も受けたりするので、自分は双子で良かったと思っています。今、ママたちは大変な時期もあると思いますが、その子たちが成長して双子でよかったって思える日が来るから、少し手が離れるまでは頑張りたいと伝えるようにしています」。

みんなの思いをカタチに

●布川さん「双子、三つ子ちゃんだけのイベント「みんなHAPPYふたご・みつごスマイルカーニバル」を開催しました。(阿波銀福祉基金からの

助成金で開催)スペシャルゲストにハッピーダンスおにいさん三原勇氣さんを迎え、ダンス、ふれあい遊びをみんなで楽しみました。三原勇氣さんによるママのためのワークショップでは、自身の子育てに点数をつけたり、グループに分かれ、子ども自慢や、子育て観を話し合ったりしました」。

●平尾さん「これからも、できることをやっていきたいと思っています。もちろん長く続けたいけれど、いつまでできるかは分かりません。だからこそ行政が動いてくれることを願っています。昨年度から県が多胎児家庭等ピアサポート事業※を始められました。このような取り組みが県内各地

へ広がって欲しいと思っています」。

●布川さん「妊娠中からつながりを持ってほしいと思っています。生まれてからどんな準備をしなくてはいけないか、実際に先輩ママたちと双子ちゃんの様子を見てもらうきっかけにもなります。また、お譲り会で必要な物を持って帰ってもらえればうれしいです。ぜひ妊娠中からこの会のことを知ってもらって、つながりができて、安心して出産や子育てを楽しんでほしいです」。

※多胎児家庭等ピアサポート事業とは、双子、三つ子のパパママの交流や、助産師、先輩ママによる相談、事例紹介などにより、同じ悩みや不安を抱える多胎児家庭等の交流を図る事業。本年度も開催予定。

参加者の声

- ▶育児の悩みの共有や、みんなと交流できるのがいい。毎回楽しく参加しています。(4歳児双子ママ)
- ▶横の繋がりができて、交流会で悩みを相談し合うのはもちろんのこと、個人的にSNSでも連絡を取り、大変さや双子ならではの必要な情報などを共有できるようになりました。衣類等の交換会を交流会に合わせて企画していただいたことで、不要になったけど、これからの『双子ちゃん』に着てもらいたいセットのグッズなどをお渡しして、喜んでもらえる機会ができました。(3歳児双子ママ)
- ▶まだ一度しか参加できていませんが、同じ双子の家族が徳島にもこんなにいるんだとびっくりしました。運営されている方々が優しく、駐車場まで迎えに来てくださり感激しました。(2歳児双子ママ)

徳島多胎ママの会からのお知らせ

第15回多胎ママ交流会を開催します。
同じ境遇のママたちとおしゃべりするだけでもリフレッシュになると思います。お気軽にご参加ください。
日時:2025年6月15日(日)13:30~15:00
場所:ふれあい健康館 2階和室
参加費:無料
希望者はInstagramのDMで申し込んでください。

